市政に対する 一般質問

12月定例会の一般質問は、12月2日・3日・4日・7日の4日間で17人の議員が市政に対する諸問題について質問をしました。紙面の都合上、主なものを掲載しています。

なお、詳細については2月下旬発行予定の会議録（市役所市政情報コーナー、図書館及び地域公民館、市議会ホームページなどで閲覧可能）をご覧ください。

教育行政

放課後子ども教室について

柴﨑 登美夫（新政策研究会）

問 放課後子ども教室は、全児童を対象とした総合的な放課後対策事業であり、学童保育と連携して行われているが、共働き家庭が増加している現状の中、放課後の家庭に保護者がいない状況が顕在化してきている。放課後の子どもたちの安全な居場所づくりの事業として重要と考えるが、本市の開設校の状況と今後は。

答 現在、北・北河原・西小学校の3校で実施し、児童121人が参加しており、子どもたちや保護者から好意的なご意見も多数いただいている。埼玉県東部地区学校家庭地域連携実践発表会において、県家庭地域連携課から本市の取り組みについて一定の評価を受けた。今後は、子育て環境ナンバーワンの実現を目指し、放課後子ども教室の充実を図って行く。

●学校統廃合について

問 行田市公立学校再編成計画案が策定され、学校再編成が進められているが、北河原小学校と南河原小学校の学校統廃合の進捗状況は。

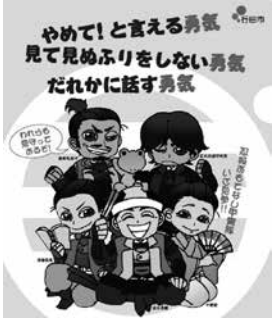
答 現在、北河原小学校再編成地域委員会が立ち上がり、南河原地区も学校関係者や地域関係者からなる同様の組織を立ち上げ、両地区合同の会議を開催する予定である。

教育行政

教育行政について（いじめ問題）

大河原 梅夫（公明党）

問 いじめ防止対策推進法により、「いじめ防止対策推進委員会」を設置し、本市としてもハイパーQUの活用やアンケート調査を実施し、いじめの早期発見といじめ防止の指導を行っているようであるが、教育委員会が把握しているいじめの実態はあるのか。また、ネットによるいじめや不登校などの実態を「チーム学校」として、問題点や課題等を聞いてどのように活用しているのか。さらに、子どもたちと教職員のいじめに対する認識の違いがあるとの調査結果もあるが、その点の認識についてはどうか。



行田市いじめホットライン啓発用品

答 市内小・中学校で13件のいじめを認識したが、現在では全て解決している。ネットいじめについては、ネットの安心安全な使い方を示したものをPTAと連携し全家庭に周知する予定である。また、「チーム学校」としてはスクールカウンセラー、さわやか相談員、学校応援団、見守りボランティアの方から相談日誌を提出させ、協議会で情報共有し随時対応している。ハイパーQUやアンケート調査の中でいじめが解消している事を確認できると考えている。

〔その他の主な質問〕

○映画「じんじん」の上映会

学校統合

北河原小学校と南河原小学校の統合について

吉野 修（黎明21）

問 6月定例会でも伺ったが、森教育長が7月に就任されてからの進捗状況と見通しは。

答 北河原地区に、学校関係者や地域関係者からなる北河原小学校再編成地域委員会が昨年10月に立ち上がった。南河原地区にも同様の組織が立ち上がったことから、本年10月に第1回目の会議が開催された。その会議で、統合に合意された北河原地区の皆様の心情を南河原地区の皆様にも理解していただき、両地区でともに新しい学校を造っていくという気持ちで統合の話し合いを進めていきたいと説明した。12月には両地区合同の会議を開催する予定である。

問 統合を円滑かつ速やかに実施していくために、どのような体制や姿勢をとるのか。

答 教育委員会が一体となって部署の垣根を越えた協力体制をとっていく。また、両校が取り組んできた交流事業を基に教員一同が児童の心に配慮するとともに、保護者の不安を少しでも解消できるよう統合の準備を行っていく。さらに、この統合が迅速かつ確実に実施され、児童にとって望ましい教育環境や新しい地域力が育つよう努力していく。

〔その他の主な質問〕

○情報セキュリティ対策